

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域児童福祉事業所 ぼけっと		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R8年 1月 14日		～ R8年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ1人1人の強みを活かしたチームワークがとれている ・ミーティングや振り返りを日々行い、支援について共有の目的が持てている	・毎日のプチミーティング、振り返り、毎週のミーティングなどで日々の支援に対する再確認、次のステップを話すようにしている ・チームで考える(1人で抱えないように、スタッフのコミュニケーションが取れる機会を作っている)	・休休日のスタッフも出てもらい、全体ミーティングを毎月1回行うようにする
2	学ぶことに意欲的 ・特性の理解、コミュニケーション支援(PECS)、強度行動障害養成研修など専門的な研修の充実	・外部の講師、コンサルを行っている	・全員もしくは複数で受講することで、研修の振り返りを支援に活かせるようにする ・毎月全体ミーティングを行い、その時に一緒に研修を受ける時間を確保する
3	子どもたちがとにかく大好き ・子どもたちの好きなこと、興味があることを知りたい ・保護者の方、通っている所の様子も知り、ぼけっとに来ている時以外の子どもたちの様子も知りたい	・子どもたちの好きなことを少なくとも5つはみつけるようにしている ・色々な場所で、子どもたちが安心安全に過ごせるよう、他機関との連携を強化する(送迎時、担当者会議等で様子を聞かせてもらう)	・今の時期の支援ももちろん大事だが、これから大人になっていく子どもたちをイメージしてライフプランに沿った支援を目指す ・子どもたちの豊かな人生の土台作りを、保護者の方と一緒に考えていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練の周知	災害・感染の避難訓練を定期的に行っている 訓練の日に利用ではない方へ、ぼけっと通信にて報告するようにしている	日頃の様子や地域のイベント参加等、ぼけっと通信やメール等でお知らせをしっかりとできるようにする
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない	積極的に交流の機会を設定してはいないが、公園に行ったり、地域のイベントに参加することで交流の場になればと考えている	日頃の様子や地域のイベント参加等、ぼけっと通信やメール等でお知らせをしっかりとできるようにする
3	職員の配置数の周知	国で定められている基準は守って運営しており、玄関に掲示している	職員体制が変わるたびに、ぼけっと通信や玄関の掲示で伝えていくことを、新年度が始まるたびに保護者の方に周知していく 退職の職員が続き、子どもたちや保護者の方々にご不安にさせてしまい申し訳ありませんでした